

## 【北信越総体が行われました】

北信越高校総体が6月21日、22日に行われ、剣道部女子団体が3連覇を果たしました。大将の中農陽さん(2年6組)は「チーム一丸となって優勝することができました。インターハイでも先輩方と全力で戦います」と力強く話してくれました。



また、ソフトボール部は準優勝、陸上競技部は4名の選手が6位入賞を果たし、インターハイ出場切符を手に入れました。

## 【全国総体・野球・ソフトワールドカップ激励会(7/8)】

「全国総体・県高校野球選手権大会・WBSC U-18女子ソフトボールワールドカップ2025出場選手激励会」が行われ、出場する各選手の健闘を祈り全校生徒からエールが送られました。

陸上競技部、男子テニス部、女子テニス部、柔道部、剣道部女子、少林寺拳法同好会、ソフトボール部、野球部の選手57名が壇上に並び、代表が抱負を述べました。また、アメリカ・オクラホマシティで9月に行われる



女子ソフトボールワールドカップの日本代表に選ばれた石田愛杏さん(3年9組)も大会に向けた決意を語りました。

## 【球技大会開催(7/17・18)】

金沢市総合体育館で全学年の球技大会が開催されました。各クラスが揃いのTシャツを着て結束力を高め、バレーボールで熱戦を繰り広げました。

リーグ戦の後に優勝決定戦が行われたほか、男子の優勝チームと教員チームとのエキシビジョンマッチでは、真剣かつ気迫あふれるプレーに歓声が上がりました。



## STUDENTS' VOICE

### ～「目指せ！甲子園」野球部を応援しよう～

夏の甲子園出場に向け、野球部が快進撃を続けています。勝ち進んだ場合には、準決勝、決勝では全校応援が予定されています。野球部主将と応援団長に意気込みを聞きました。

#### ○野球部主将の西尾友冨さん(3年8組)



「大会ではチームの状態も上がってきており、雰囲気も良くなっています。春季大会での準優勝の悔しさを晴らすために、一戦一戦全力で戦い、必ず県の頂点を獲ります」と熱い思いを語ってくれました。

#### ○応援団長の和田健心さん(3年7組)

「スタンドが一丸となって全力で応援する中でも、相手チームに敬意を払って、ルールを守りながら応援することを心がけています」と、スポーツマンシップを大切にして応援団をまとめていることを話してくれました。



### 「野球部より全校の皆さんへ」

「応援はプレーをしている選手にとって大きな力になります。厳しい暑さの中での応援になると思いますが、14年ぶりの夏の甲子園への切符を掴むために、ぜひ球場に来て応援してもらえたらうれしいです！」(西尾さん・和田さん)



#### 【大会の予定(@県立野球場)】

- ・23日(水) 準々決勝 11:30
- ・25日(金) 準決勝(全校応援) 11:30
- ・27日(日) 決勝(全校応援) 9:00

熱中症予防を万全に、選手に熱い声援を届けよう！

## 「伝えることの大切さ・難しさ」

最近、「伝えること」について考える機会が増えました。自分の考えを言葉にするのは意外と難しく、対面であっても声の調子や表情、言葉の選び方、さらには相手の心理状態によって伝わり方は変わってきます。メールやチャットのように文字だけのやりとりになると、その難しさはさらに増します。ある方が「メールはつぶやきにすぎない」と話していたことが印象に残っています。だからこそ私は、「コミュニケーションはキャッチボール」であることを意識し、対話の中で相手の言葉をしっかり受け止め、自分の思いも丁寧に伝えていきたいと感じています。

他者の考えに触れることは、自分を見つめ直し、成長するきっかけにもなります。「生きるということは、変わること」。私自身は人との関わりを通して自分の変化を実感したいです。

皆さんもこの夏、社会の一員として、自分と他者とのあり方について考えてみませんか？

教頭 藤原 史恵

## 文化祭および2学期最初のスケジュール

今年の文化祭は例年と異なり、「8月」に実施されます。以下のスケジュールを参照してください

8月26日	火	文化祭準備日	8:40~15:05
8月27日	水	文化祭準備日	8:40~15:05
8月28日	木	文化祭(1日目)	通常通り
8月29日	金	文化祭(2日目)	通常通り
9月 1日	月	始業式・通常授業	※2限から通常授業



## 「文化祭を作るために」

今年も金高祭の季節が近づいてきました。私は高校・大学と文化祭実行委員を経験してきました。準備は大変で、面倒くさいものです。ライブで赤字を出して借金したこともあります。しかし、仲間と共に何かを完成させた充実感や爽快感が忘れられません。

教員になってからも、文化祭の前後で人間関係が前向きに変化した生徒たちを見てきました。展示でもダンスでも模擬店でも「ああでもない、こうでもない」と共に考えた仲間は大切です。もちろん、最初は大変です。「誰も手伝ってくれない」と悩んでいた先輩たちもいます。でも小さな雪玉を転がすうちに大きな雪玉となるように、少しずつ仲間を巻き込んで進みましょう。

私の好きな言葉に「作り上げることは難しい。でもね、作り上げることのほうがいい人生でしょう」(元日本代表オシム監督)というものがあります。皆さんもぜひ文化祭で何かを作り上げることにチャレンジしてください。期待しています。応援します。

生徒支援部生徒会支援主任 村上 卓也